

# 令和 5 年度 鳥取県 英語教育改善プラン

【鳥取県が目指す小・中・高等学校で一貫した英語教育の姿】

言語活動を通して英語 4 技能をバランスよく育成する  
 (小学校) **英語に慣れ親しみ、英語で伝えたいという意欲の育成**

## 目標

### 1. 現状

改善が進んだ点

- ①言語活動の理解と実施促進 (R3:75.4%→R4:**94.2%**)
- ②パフォーマンステストの実施促進
  - ・5年(R3:5.4回→R4:**6.3**回)
  - ・6年(R3:5.8回→R4:**6.9**回)
- ③CAN-DOリストの活用促進
  - ・公表(R3:14.9%→R4:**37.2%**)
  - ・把握(R3:41.3%→R4:**52.1%**)
- ④新規採用者における一定の英語力を持つ者の割合増加 (R3:9.7%→R4:**10.7%**)
- ⑤小中連携の実施促進 (R3:58.9%→R4:**67.9%**)

未だ改善が必要な点

- ①児童の英語学習への意欲向上  
 ※「英語の学習が好き」と答えた児童の割合 (R3:83.0%→R4:**82.0%**)
- ②外国語指導経験の少ない学級担任等への支援
- ③パフォーマンステスト等を活用した指導と評価の一体化に向けた取組
- ④CAN-DOリストの設定 (R3:65.3%→R4:**63.6%**)
- ⑤言語活動の充実のためのデジタル教科書の効果的な活用
- ⑥カリキュラムや学習到達目標に基づく小中連携・小小連携 (R3:**17.9%**→R4:**23.2%**)

### 2. 分析

【改善が進んだ要因】

- ①言語活動の適切な理解についての研修動画を作成・配布
- ②専科教員による優れた指導法や評価方法、開発教材をポータルサイトを活用して共有
- ③県版CAN-DOリストを作成して教育課程研究集会で提示・配布し、具体的な活用方法を周知
- ④公立学校教員採用試験において**加点措置**や**特別選考**を積極的に周知
- ⑤小中連携の具体的な方法や実践について、**英語教育推進フォーラム**や**教育課程研究集会**、**動画**等で共有

【改善が必要な要因】

- ①児童の興味・関心を引き出し、意欲を高める言語活動の質が不十分
- ①**実際に英語を用いてコミュニケーションする場の不足**
- ②**学級担任等への専門的な研修機会の提供不足**
- ③パフォーマンステストの実施方法や客観的な評価指標を生かす評価についての具体的な知識が不足
- ④**県版CAN-DOリストの認知不足**
- ⑤**デジタル教科書の実践的な活用に関する研修機会の不足**
- ⑥**カリキュラム連携や中学校教員の小学校外国語についての理解不足**

### 3. 施策・事業

- ⑥ **ALT等を活用した英語によるコミュニケーション能力向上事業**  
 児童の英語学習への意欲及びコミュニケーション能力の向上を図るため、ALT等のネイティブスピーカーと英語を使ってコミュニケーションを取る場を創出
- ① **ALTと学ぶわくわくコミュニケーション事業**  
 →ALTの効果的な活用についての好事例を周知
- ① **小学生のための1DAYイングリッシュ (1日×2回×3会場)**
- ⑥ **小・中学生のための英語教育推進事業**  
 小中高のつながりを見通した英語教育の充実を図るため、「話すこと」を中心とした4技能統合型の授業改善を推進
- ① **外部試験を活用した児童生徒の英語力向上事業**
- ①② **小学校教員のための「とっとり英語学び塾」** (オンライン)  
 →外国語指導経験の少ない教員向けの基礎・基本的な内容の研修
- ①② **小学校教員のための英語授業づくりステップアップ研修**  
 →外国語指導経験のある教員向けの専門的な内容の研修
- ③④ **パフォーマンステスト研修** ※大学教授招聘
- ①② **小学校英語専科等指導力向上研修** ※大学教授招聘
- ④①③ **教育課程研究集会** ⑤ **学習者用デジタル教科書活用研修**

一定の英語力を有する小学校教師の新規採用に係る取組

- ④公立学校教員採用候補者選考試験において、  
 ・小学校教諭志願者で外部試験の一定条件を有する受験者に対し、**第一次選考試験の専門試験の得点に加点**
- ・**特別選考「英語力に優れた者を対象とした小学校教諭選考」**  
 英検準1級程度以上の資格基準を満たす者について第一次選考試験のすべて及び第二次選考試験の専門試験を免除

小中高の校種間連携充実のための連携強化事業取組

- ⑤⑥ **小中連携・小小連携に係る研修**  
 →カリキュラム面での連携や情報交換、交流の実践等に共有・周知
- ⑥ **中学校教員のための小中連携に係る研修**  
 →小学校外国語目標や内容について中学校教員が学ぶ研修を実施

# 令和 5 年度 鳥取県 英語教育改善プラン

【鳥取県が目指す小・中・高等学校で一貫した英語教育の姿】

言語活動を通して英語 4 技能をバランスよく育成する  
(中学校) **自分の考えや気持ちを英語で伝え合う力の育成**

## 目標

### 1. 現状

#### 改善が進んだ点

- ①言語活動の理解と実施促進 (R3:65.3%→R4:**67.9%**)
- ②教員の英語使用割合の増加 (R3:67.6%→R4:**69.6%**)
- ③「話すこと」のPTの実施回数増加 (R3:3.9回→R4:**4.1**回)
- ④CAN-DOリストの設定・活用促進  
・設定(R3:96.4%→R4:**100%**)  
・公表(R3:51.8%→R4:**53.6%**)  
・把握(R3:46.4%→R4:**58.9%**)
- ⑤小中連携の実施促進 (R3:58.9%→R4:**67.9%**)

#### 未だ改善が必要な点

- ①生徒の英語力向上  
※ CEFR A1以上の英語力を持つ生徒割合 (R3:**40.3%**→R4:**34.6%**)
- ②英語担当教員の英語力向上  
※ CEFR B2以上の英語力を持つ教員割合 (R3:**33.5%**→R4:**33.5%**)
- ③パフォーマンステストや外部試験等を活用した評価の改善とPDCAサイクルの構築
- ④CAN-DOリストの活用 (R4公表:**53.6%** 把握:**58.9%**)
- ⑤言語活動の充実のためのデジタル教科書の効果的な活用
- ⑥小中連携、中高連携の実施 (R4小中:**67.9%** 中高:**36.4%**)

※令和4年度英語教育実施状況調査・県独自調査より

### 2. 分析

#### 【改善が進んだ要因】

- ①②昨年度に続き、県内全公立中・義務教育学校英語訪問を実施  
→授業参観と事後協議を行い、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりや授業での英語使用について直接指導
- ③スモールトーク等の「話すこと」を中心とした言語活動の適切な理解と実施についての動画配布、オンライン研修会、訪問指導の実施
- ④CAN-DOリストの活用について、動画作成や教育研究集会で周知
- ⑤小中連携の具体的な方法や実践について英語教育推進フォーラムや教育課程研究集会等で共有

#### 【改善が必要な要因】

- ①英語力を総合的に高める技能統合型言語活動に基づく授業改善が不十分
- ①生徒が実際に英語を用いてコミュニケーションする場の不足
- ②教員が英語力を高める機会の不足
- ③パフォーマンステストの実施方法や外部試験等の客観的な評価指標を指導と評価に生かすための知識が不十分
- ④CAN-DOリストの改善と具体的な活用方法等の知識が不十分
- ⑤デジタル教科書の実践的な活用に関する研修機会の不足
- ⑥カリキュラム連携等の具体的な連携方法や小学校外国語への理解不足

### 3. 施策・事業

#### ◎ ALT等を活用した英語によるコミュニケーション能力向上事業

生徒の英語学習への意欲及びコミュニケーション能力の向上を図るため、ALT等のネイティブスピーカーと英語を使ってコミュニケーションを取る場を創出

#### ① ALTと学ぶわくわくコミュニケーション事業

→ALTの効果的な活用についての好事例を周知

#### ① ネイティブスピーカーと過ごす中高生合同の英語での発信力養成キャンプ

#### ① ネイティブスピーカーとのオンラインスピーキング

→中学校でオンライン英会話を導入する自治体に対して上限額を設定し、財政補助

#### ◎ 小・中学生のための英語教育推進事業

小中高のつながりを見通した英語教育の充実を図るため、「話すこと」を中心とした4技能統合型の授業改善を推進

#### ①②① 中・義務教育学校外国語（英語）訪問

#### ① 外部試験（英検IBA）を活用した児童生徒の英語力向上事業

→全公立学校中学3年生に4技能型、1・2年生に2技能型の英検IBAを実施

#### ①②⑥ 外部試験を活用した英語教員等の指導力向上事業

→分析結果活用研修、指導力向上研修、英検特別受験制度の案内を実施

#### ③ 「出かける学びの改革推進室（英語）」（訪問型）

#### ③① 「とっとり英語学び塾」（オンライン）

#### ③④ パフォーマンステスト研修 ※大学教授招聘

#### ③ 定期考査研修会（中学校・英語） ※大学教授招聘

#### ④⑤①③④ 教育課程研究集会

#### ⑤ 学習者用デジタル教科書活用研修

#### 小中高の校種間連携充実のための連携強化事業取組

#### ⑥ 中学校教員のための小中連携に係る研修

→小学校外国語の目標や学習内容について中学校教員が学ぶ研修を実施

#### ⑥ 「話すこと」を中心とした中高連携に係る研修

→「話すこと」の技能を育成する言語活動の実践について中・高等学校教員が合同で学ぶ研修を実施

#### ⑥ 英語教育推進フォーラム

→小・中・高等学校の英語担当教員が一堂に会し、校種間連携に関するテーマに基づいた実践発表や講演を実施

# 令和 5 年度 鳥取県 英語教育改善プラン

【鳥取県が目指す小・中・高等学校で一貫した英語教育の姿】

言語活動を通して英語 4 技能をバランスよく育成する  
(高等学校) **英語で発信し議論する力の育成**

## 目標

### 1. 現状 ※数値は英語教育実施状況調査結果より

#### 改善が進んだ点

- ① 生徒の英語力向上  
(R3:45.8% →R4:**50.8%**)
- ② 言語活動時間の割合の増加  
(50%以上行っている)  
(R3:31.6% →R4:**48.2%**)
- ③ パフォーマンステストの実施割合の増加 ([例] 英コミュ I)  
・普通科  
(R3:45.2% →R4:**60.0%**)  
・専門・総合学科  
(R3:47.1% →R4:**58.3%**)

#### 未だ改善が必要な点

- ① CAN-DOリストの活用  
(達成状況の把握)  
(R3:65.5% → R4:**34.8%**)
- ② 専門・総合学科における指導の改善  
・言語活動割合 (50%以上)  
→R4: **20.0%**  
・教師の英語使用割合 (50%以上)  
→R4: **11.4%**
- ③ パフォーマンステストの適切な実施と質の向上
- ④ 中高連携の促進  
(R3:40.9% → R4:**36.4%**)
- ⑤ 高度な表現力を有した人材の育成

※令和 4 年度英語教育実施状況調査より

### 2. 分析

【改善が進んだ要因】

- ① 外部検定試験の活用による 4 技能を意識した指導改善の成果及び外国人指導助手による授業内の指導や評価の補助
- ② ③ 指導と評価に係る研修会及び英語教育推進フォーラム等での学習指導要領の趣旨説明及び訪問指導

【改善が必要な要因】

- ① CAN-DOリスト形式での学習到達目標の妥当性に課題
- ① CAN-DOリストをもとに指導計画を作成するという視点の欠如
- ② 英語を苦手とする生徒への支援や、生徒の主体性を引き出す指導についての研修機会の不足
- ③ 観点別評価についての理解不足や、テストの効率化について知識不足
- ④ 中学校までの指導履歴をふまえた生徒理解が不十分
- ⑤ 生徒が同世代の他の生徒たちと英語を使って社会的な話題についてやり取りする機会の創出

### 3. 施策・事業

グローバルに活躍する層を対象とした取組

- ◎ **世界に羽ばたく人材育成事業**
- ⑤ **グローバルリーダーズキャンパス**  
→米国スタンフォード大学と連携したオンライン授業を受講する
- ⑤ **高校生海外留学支援事業** ※ 4 名、上限40万円
- ◎ **ALT等を活用した英語によるコミュニケーション能力向上事業**
- ① **②④⑥ネイティブスピーカーと過ごす中高生合同の英語での発信力養成キャンプ**  
→中・高等学校の生徒が 3 日間にわたり目的別のレッスンを受講する
- ⑤ **江原道青少年国際フォーラム派遣事業**  
→国際フォーラムに 2 校 1 0 名の高校生を派遣し、英語によるプレゼンテーション等を行う
- ⑤ **英語弁論大会優秀者派遣事業** ※ニュージーランドに 2 名
- ⑤ **クライストチャーチ架け橋プロジェクト** ※ニュージーランドから 2 名  
→日本語を学ぶ高校生を県内高校に受け入れる

◎ **外国語指導助手等充実事業**

- ① **③英語教員等の指導力向上研修**  
→指導と評価に係る研修。学習指導要領の趣旨理解及び適切な評価問題等について理解を深める
- ① **③⑥外国語指導助手 (ALT) の指導力等向上研修会**  
→ALT及び日本人教員対象に、ワークショップ型スキル向上トレーニング研修を行い、指導力の向上を図る
- ◎ **その他** ②③①③⑥**教育課程研究集会**

小中高の校種間連携充実のための連携強化事業取組

- ② **②④「話すこと」を中心とした中高連携に係る研修**  
→「話すこと」の技能を育成する言語活動の実践について、中・高等学校教員が合同で学ぶ研修を実施
- ④ **英語教育推進フォーラム**  
→小・中・高等学校の英語担当教員が一堂に会し、校種間連携に関するテーマに基づいた実践発表や講演を実施